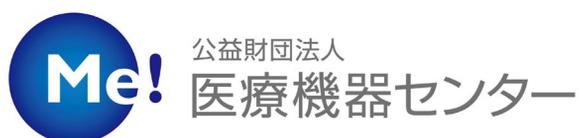




〈エグゼクティブコース〉
NEXT経営人材研修



■医療機器業界の将来を担う人材の育成を目指して

NEXT経営人材研修のねらい

“知っていること”と“使いこなすこと”は違う、これが本研修のコンセプト
“今日の知識”を“明日の知恵へ”を目指した実践的な意思決定能力を磨きます

本研修は医療機器ビジネスに特化し、
基本的な知識の整理とその活用を実際の事例を通して学び、考え、議論をします。

本研修は教わるのではなく、受講生が自ら考えることで学びとるアクティブプログラムです。
貴社の明日を担う人材のリーダーシップ能力を高めます。

主な対象者：医療機器業界、会社のエグゼクティブを目指す中堅社員（30～40代）

プログラム：右表のとおり

●主な進め方

17：00～18：10 講義（第1回は、16:30よりオリエンテーションを実施予定）

18：10～19：00 グループディスカッション

19：00～19：30 意見交換、情報交換、ネットワーキング

※第5回・第7回・第8回は20:00終了予定

●講師陣：厳選したビジネス経験豊富な講師

●課題研究：受講生自ら取り組む任意企業を対象とした分析

✓ 企業全体、買収、製品開発・上市、など

✓ 医療機器産業研究所によるメンタリング、コーチング、アドバイザリング

※医療機器産業研究所の所有資料・書籍等を閲覧、利用可能

※課題研究の成果発表（第8回）は、会社トップあるいは上司の同席が必須

修了証：講義6回のうち5回以上の出席＋成果発表の修了者
修了者には紙面による修了証およびオープンバッジを授与

受講者特典：次年度開催予定の本研修の最終回に聴講参加が可能
課題研究内容に限って、修了後1年間のみ継続的アドバイスが可能

参加により得られるもの

業界若手同士のネットワーキング、幅広い講師陣との人脈、医療業界特有な知識、エグゼクティブになるためのリテラシー、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキル、リーダーシップスキル、論理的、倫理的アプローチ、資料を読みこなし、考えをまとめ発表する力

オーガナイザー

公益財団法人医療機器センター附属
医療機器産業研究所 上級研究員
高山修一



公益財団法人医療機器センター附属
医療機器産業研究所 上級研究員
昌子久仁子



■ プログラム

※セミナータイトルや講義の具体的内容は、変更する場合がございます。

第1回 2026年 5月13日(水)	企業の成長戦略と実践	朝日インテック株式会社 取締役会長 宮田 昌彦 氏
国内外での事業拡大を続ける朝日インテックの成長の軌跡を通じて、変化の時代における経営判断や戦略構築の実際を読み解きます。M&Aやグローバル展開など、持続的成長を支える経営の実践的な考え方を考察します。		
第2回 2026年6月 10日(水)or 17日(水)	グローバルビジネスと意思決定	Huimin Wang, M.D. President, Japan & Asia Pacific Masimo Corporation
医療機器ビジネスはグローバル競争です。画期的医療機器の開発、臨床導入、市場開発の実際を、グローバルビジネスの視点から学びます。担当講師はグローバル企業でエグゼクティブとして活躍し、日本を含むアジアパシフィックを統括してきたビジネスマンです。グローバル企業における意思決定のあり方を学びます。		
第3回 2026年 7月14日(火)	グローバル経営とガバナンス	WICIジャパン 代表理事 青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授 北川 哲雄 氏
グローバル市場で企業が選ばれ続けるためには、透明性の高い経営とガバナンスの確立が不可欠です。本講義では、持続的成長を支えるガバナンスの本質を、国際的な視点から紐解きます。医療機器業界が次の成長段階に進むための経営課題を考えます。		
【課題研究関連】19:00～ 課題研究の対象として選定した企業の発表		
第4回 2026年 9月15日(火)	財務とビジネス	株式会社IDOM 取締役CFO 西端 亮 氏
財務なくして経営はあり得ない。これは誰もが理解していることです。しかし、それを経営指標から経営戦略に活かしているのか、これが分岐点です。技術導入、M&A、資金調達などこれからの経営に不可欠なテーマに合理的かつ論理的、社外からの信頼を得る財務をビジネスを絡めて学びます。		
第5回 2026年 10月21日(水)	課題研究の中間発表	ファシリテーター 医療機器産業研究所上級研究員 高山修一 医療機器産業研究所上級研究員 昌子久仁子
受講者が選定した任意企業の分析の中間発表を行います。受講者同士の討議に加え、医療機器産業研究所の研究員総勢でアドバイスをを行います。ここでのディスカッションが課題研究の質を高めます。		
第6回 2026年 11月18日(水)	ケースメソッド授業	公益財団法人医療機器センター 専務理事 中野壮陸 医療機器産業研究所上級研究員 昌子久仁子
KBS（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）のケース教材を用いたワークショップです。実際の企業の経営課題を題材に、参加者は当事者の立場で分析・検討を行い、講師のリードのもとでディスカッションを重ね、最終的な意思決定を行います。		
第7回 2026年 12月9日(水)	エグゼクティブ講義	テルモ株式会社 代表取締役社長CEO 鮫島 光 氏
世界 160 以上の国・地域で事業を展開するテルモの経営経験を通じて、「正しいことを正しいやり方で実践する」という信念に基づいた意思決定と経営のあり方を考察します。経営トップの経験から学び、次世代経営人材としての視座を磨きます。		
第8回 2027年 1月26日(火)	課題研究の成果発表 ・会社の上司の同席 ・次年度以降は前年度までの受講者が参加可能	ファシリテーター 医療機器産業研究所上級研究員 高山修一 医療機器産業研究所上級研究員 昌子久仁子
これまでの講義から学んだことを踏まえ、中間発表でのディスカッションを通してより深い洞察、考察を加えた課題研究の最終発表を行います。上司の方はぜひご参加をお願いします。		
オプション 2026年 7月～8月頃	ベンチャー企業会社訪問（希望者）	革新的技術の社会実装には、技術、人材、資金、開発環境、そして市場を横断的に捉え、事業として推進する力が求められます。この推進力が経営前提として常に問われるのがベンチャー企業です。迅速な意思決定と高い実行力を武器に前進する現場を体感します。

